

2歳頃からの

しつけ 関わり方

発達段階

- 体のバランスが取れてきて、手先が器用になり、スプーンなどが上手に使えるようになります。
- 言葉も増えてきて、二語文を話すようになります。
- 自分に自信を持ち、頑固で自己主張が強く、自己中心的・独占欲が強くなることも。
- 想像力や社会性も育ち、ごっこ遊びやお友達とも遊べるようになります。
- 「こうしたら、こうなる」と因果関係も理解し始めます。

しつけ

- イヤイヤ期です。自我が芽生え、心の自立が始まっています。自分で「できる」と考えがちなので、親の手助けは嫌がります。「見せてみて」と言いながら、さりげなくサポートし、できたことを褒めましょう。
- 何かを待つ、人と分かち合うこともまだまだ難しい時期です。待てた時、分かち合うことができた時に褒めてあげることが大切にしましょう。
- 本当に危ない時や、してはいけないことをした時は、きっぱりとしかりましょう。



1歳頃～ 2歳頃

特徴

「〇〇したい」という気持ちが強くなる
気持ちを言葉で上手く伝えられず、イライラする
自立心が芽生える・自己主張や独占欲が強くなる



関わり方のポイント

- 「イヤ」に含まれた子どもの気持ちを探り、「イヤ」を言語化する。
- しかるよりも「こっちやってみる？」など注意をそらしたり、選ばせる。
- 何かをする時は、切り替えやすいよう必ず事前に声をかけて伝えておく。
- 「できた」達成感を得られるよう「さりげなく」手助けをする。
- 要求をかなえられない時、「〇〇したいね、できなくて悔しいね」等、子どもの気持ちを受けとめ、伝える。

★悩んだ時こそ誰かに相談を！～お話を聞き、一緒に考えます～
連絡先：東松島市役所 健康推進課 子ども健康係
82-1111(矢本保健相談センター内)